
色恋

まったりorz

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

色恋

【Nコード】

N2620B

【作者名】

まったりorz

【あらすじ】

放課後の教室、真紀と千尋は、いつものように他愛もない話をする。真紀の中にある歪んだ愛情。

初めてのセックスの時、痛みも感動も愛情すら感じていないと思う。

相手は、私を

「彼女」

という範疇に入れていたようだが、私は

「彼氏」

と思った事は一度もなかった。

自分の上で、揺れる黒い影をぼんやり見ながら、

ああ、早く終わんないかなあ

くらいに考えていた。

セックスなんて、くだらない。

自分の上で頑張っちゃってる男が滑稽で、私はどんどん冷めていくのだ。

【色恋】

「…で、別れたの？」

「そもそも付き合った覚えもないし。」

私の返事に、千尋は呆れたように溜め息を付く。

「じゃあセックスする意味ないでしょ？」

千尋は意外と潔癖らしい。新しい発見だ。

教室の窓から差し込む柔らかな西日が、潔癖な少女の髪をヘーゼルに染める。

教室には、私達だけ。

教室から見えるグラウンドには、運動部の生徒がちらほらという。廊下の突き当たりにある音楽室からは吹奏楽部の練習音がここまで届く。

決して静かではないけれど、この時間帯が私は一番好きだ。

そして、橙の陽光に包まれている目の前にいる少女も。

「うん、もうしない。別にたいしたモンじゃなかった。」

机の上で、うなだれていると、頭上からまた溜め息が聞こえた。

「古藤くん、かわいそう。」

ぽつり、と呟かれた千尋の言葉に、私は思わず頭を上げた。

「なんで？この場合かわいそうなのは、処女を奪われた私じゃないの？」

「奪われたんじゃないくて、捨てたんでしょ。真紀の場合は。そんな

もの押し付けられた上に捨てられた古藤くんが一番の被害者よ。」

千尋が、古藤にばかり同情するから、私は面白くなってそっぽを向く。

窓から見える夕空は、赤から薄紫へと徐々に色を変えている。憂鬱な色。

日常が、だんだんと侵食されていくような。

私は、千尋に視線を戻してみた。

白い頬は、長い睫の影を落とし、整った顔立ちを、澄んだ瞳が一層引き立てている。

その瞳には、きっと綺麗なモノしか映らないのだろう。

彼女に、低俗な話をした事が、少し申し訳なくなった。

そんな話が、千尋を汚せるはずもないけれど。

「千尋はずっと処女でいてね。」

思わず口をついて出た言葉。

空の色が絶えず変化するように、一瞬の輝きは一瞬で色褪せてしまう。

でも、千尋は永遠であって欲しいから。

これは私の身勝手な願い。

翳りを帯びていく教室の中、千尋の瞳の色も深い黒を帯びる。

でも、そこには変わらず純粹な輝きを湛えている。

「また勝手な事ばかり言って。」

千尋は困ったように、呆れたように、笑った。

時計の針は六時を指し、下校を促す校内放送が、静かに教室の中に響く。

「だって女は、処女か母の二つしかないの。それ以外は中途半端なんだよ。前に読んだ小説に書いてあった。」

私は鞆を手に取り立ち上がりながら言う。

「じゃあ、真紀は何で処女捨てちゃったの？」

「私は、女として中途半端だから。」

薄暗い廊下に、二人分の足音が響く。

空には薄い糸のような三日月が、ぽつんと色を放っている。

自分より少し小さい、千尋の手を握る。

繋いだ手はゆらゆら揺れる。

ゆれてゆれて、そして離れる。

「じゃあ、また明日ね、真紀はもっと自分を大事にしなきゃ駄目だよ。」

私は曖昧に笑って、離れた手を振る。

また明日、その言葉が聞けるのも、限られた時間、この学校という小さな社会に属してられる時間だけだ。

「知ってた？古藤はね、千尋を好きだったんだよ。」

見えなくなった背中に、小さく呟く。

自分を大事にしてないわけではない。

自分の大事なものを大事にしているだけ。

私がくだらないセックスをする事なんて、たいした事ではないのだ。

純粋な人に憧れる、その歪んだ感情は、私の中に

一つ、一つと色を落としていく。

交じり合って、どす黒い色へと変化しながら。

f i n

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2620b/>

色恋

2010年10月17日02時33分発行